

「卒園式の季節」

所長 阿部 哲雄

三月という声を聞いただけで、春がそこまで近づいて来たという気持ちになるのは、不思議な気がします。

このころから、「三寒四温」という言葉にあるとおり、空気はまだまだ冷たいけれども、日に日に昼間の時間が長くなり、大地が太陽に暖められて、冬の間眠っていた自然が、目を覚ましてきます。木々は、冬目を付けて堅い皮で覆っていたものが、ふくらみを増してきますし、日当たりのよい場所の福寿草は、早くから花を開き、春を知らせてくれる時期になります。そして、「啓蟄」を迎えると、土の中に眠っていた虫たちが、春の温かさに誘われて、土の穴から出てくる季節になるのです。

三月三日は、女の子の節句、ひなまつり、保育所でも、ひな壇を、ホールに飾って、季節を子どもたちに感じ取ってもらえるようにしました。今年は、特に、たんぼ組の小成玄悟くんといよこ組の琴心さんのお父さんのご縁で、千葉県木更津市の人形制作店を営んでいる、「勝忠男さん」から「七壇飾り」を贈呈していただき、豪華なひな壇の前でひなまつりの会を行いました。

このひなまつりは、五節句といわれた上巳の節句のことで、平安時代の貴族の間で行われていた、小さな紙人形のひな遊びと結びついたことが起源だとか。

当保育所からは、「すみれ組」の二十四名の子どもたちが、巣立っていくことになりました。小学校への入学を控え、子どもたちの心は、期待と不安が交錯した、複雑な心境にあると思います。

子どもたちが、山田町第一保育所を巣立つということは、終わりではありません。次に待っている、小学校生活への始まりであり、旅立ちや出発を意味しているのです。

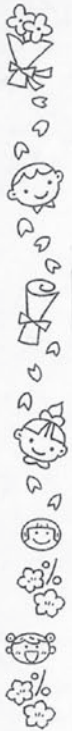
子どもたちの、身心ともに健やかな成長と、みんな元気に、明るい小学校生活を送れることを願ってやみません。

卒園式は、三月二十七日（火）に、挙行いたしますので、卒園児の保護者及び家族の皆さまの出席をお待ちしています。

当保育所における入退所の状況は、三月一日に、たんぼ組に、山崎柚希くん（二歳児）が入所して、現在の児童数は、男児四十八名、女児五十一名、計九十九名となりました。

3月のよてい

- 1日(木) ひな祭り会
- 2日(金) 誕生会・ポコポコショー
- 6日(火) 言語訪問指導・英語活動
- 8日(木) 避難訓練（地震・津波）
- 9日(金) 第2回祖父母誕生会
- 12日(月) 保護者会役員会
- 13日(火) 英語活動
- 14日(水) 年長組を送る会
- 16日(金) 虎舞踊り納めの会
虎舞りハーサル(13:00)
- 17日(土) 復興山田がんばっぺし祭り
(虎舞・祭り)
- 19日(月) 苦情解決委員会
- 20日(火) 春分の日
- 27日(火) 卒園式
- 28日(水) 職員会議
- 31日(土) 新年度準備



3月保育目標

ひよこ組

- 進級する事を喜び、期待を持って生活したり、簡単な身の回りの事を自分でしようとする。
- 暖かい日は戸外遊びや散歩を楽しみ、春の自然に触れて喜ぶ。

たんぼ組

- ☆ 快適な環境の中で、身の回りのことを自分から進んで出来るようにする。
- ☆ 大きくなった事を喜び、進級への期待を持つ。
- ☆ 友達や異年齢児と一緒に遊んだり、行事に参加する事を楽しむ。

ちゅうりつぷ組

- 快適な環境の中で健康に過ごし、身の回りの事を自分で出来るようにする。
- 進級への期待を持ち、友達との遊びやふれあいの中で、関わりを深める。
- 身近な自然に触れ、春の訪れを楽しみに過す。

さくら組

- ☆ 健康や安全などの生活習慣が身につき、快適に過せるようにする。
- ☆ 友達や異年齢児との活動に意欲的に取り組み、大きくなったことや進級への喜びや期待を持つ。
- ☆ 木の芽や草花など身近な自然の変化に気づき、春の訪れを感じる。

すみれ組

- 一人ひとりの成長を認め、保育所生活を十分に楽しむ安定した生活が送れるようにする。
- 自分の力を発揮し友達と協力したり、互いに認め合い自信を持って行動する。
- 早春の自然変化を感じとり、春の訪れに関心を持つ。

たんじょうび おめでとう

ひよこ組 2歳になりました	
みなと あもんくん	11日
いなかわ たくくん	16日
なかむら みはるさん	16日
たんぼ組 3歳になりました	
しのざわ こうまくん	24日
ちゅうりつぷ組 4歳になりました	
さとう りんさん	1日
しのざわ ひめのさん	18日
さくら組 5歳になりました	
しのやま しおんくん	19日
すみれ組 6歳になりました	
さいとう はるなさん	1日
みなと こはくさん	16日
おおた さくたろうくん	4/1日

